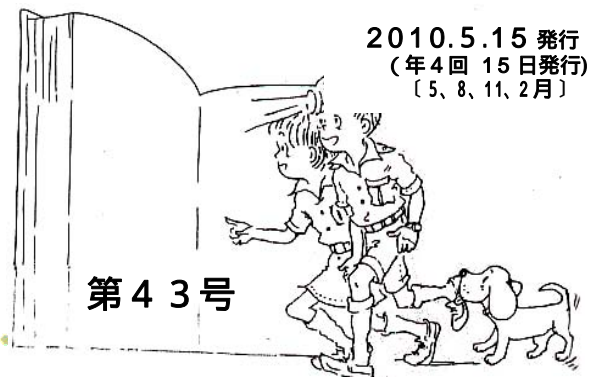


にのみやまちとしょかん 図書館だより



第43号

特集

山川方夫 生誕80年



1964年10月二宮の自宅にて
筑摩書房『山川方夫全集第4巻』より

二宮町図書館では作家山川方夫を特別コレクションに定め、その著作や関連資料を収集保存しています。1965年に34歳という若さで急逝したため、今年は無後45年、生誕80年の年にあたります。山川方夫については図書館だよりでも過去に何度か紹介していますが、今回の特集ではその後の調査報告も兼ねて改めてご紹介します。

2003年7月号(第4号)、9月号(第5号)で二宮ゆかりの人物、2006年3月号(第20号)特集で特別コレクション、2008年9月号(第35号)特集で二宮ゆかりの人物総まとめとして紹介

山川方夫は疎開をきっかけに昭和19年14歳の頃から青年期を二宮で暮らしました。戦争後は母の住む東京と祖父の住む二宮とを行き来する生活でしたが、昭和39年結婚を機に二宮の家を自宅として暮しはじめました。作品の舞台には二宮が度々登場し、随筆や写真などでも自宅の様子をうかがい知ることができます。



現在の居間の障子。
左写真の山川の背後に見える障子も当時のままです。

二宮ゆかりの人物調査票とは人物ごとに作成してあります。ゆかりの人物コーナーに常置しています。

二宮ゆかりの人物調査票

ヨミ	ヤマカワ マサオ	ヨミ	ヤマカワ ヨシミ
人物名	山川 方夫	本名	山川 嘉巳
生年月日	昭和5年(1930年)2月25日	没年月日	昭和40年(1965年)2月20日
出生地	東京都下谷区(現台東区)上野桜木町16番地	没地	大磯町(病院)
		菩提寺	蒲田妙覚寺
略歴	肩書き 小説家 学歴 慶応大学大学院文学研究科修了 受賞歴 『水の壁』で昭和33年芥川賞候補、以後も多数の作品が候補に挙がる 代表作 『その一年』『海岸公園』ほか 出典 『作家・小説家人名事典』 その他 「三田文学」編集に携わる 父・山川 秀峰(1898年~1944年)は日本画家だったが、二宮の自宅で亡くなる。 結婚するまでは二宮(祖父が居住)と五反田(母が居住)の自宅を行ったり来りしていた。 結婚後は二宮に住む。		

年月	二宮関連事項	二宮関連資料
昭和18年 (1943年)	父(秀峰)が吉田五十八設計の家を建築	二宮の地名が出ている作品 「最初の秋」(初出・昭和39年11月号新潮) 山川方夫全集
昭和19年 (1944年8月)	家族(父母、姉妹)と共に二宮へ疎開 以後、三田の慶応まで通学	「展望台のある島」(初出・昭和40年2月号新潮) 山川方夫全集
12月29日	父・秀峰急逝	「煙突」(初出・昭和29年3月号三田文学) 昭和39年11月号文学界 山川方夫全集
昭和20年 (1945年)	自宅がアメリカグラマンの機銃掃射を受ける	「遠い青空」(初出・昭和30年8月号三田文学) 山川方夫全集
昭和22年 (1947年)	二宮在住の梅田晴夫に会う	「海岸公園」(初出・昭和36年5月号新潮) 山川方夫全集
昭和40年 (1965年) 2月20日	二宮駅前の国道横断歩道で輪禍にあう	山川方夫年譜

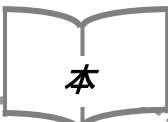
二宮関連資料						
書名	シリーズ名	著者名	出版社	出版年	請求記号	
煙突	初出『三田文学』昭和29年3月第44巻第2号(※)	山川方夫	筑摩書房	2000	918・6ヤ	
遠い青空	初出『三田文学』昭和30年8月第45巻第8号	山川方夫	筑摩書房	2000	918・6ヤ	
⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮	⋮

今年2月、上町に現存する旧山川邸(非公開)を現所有者のご厚意により特別に見学させていただきました。方夫の父であり日本画家の山川秀峰(前号で紹介)が昭和18年に建築したその家は、吉田五十八の設計によるものです。台所やお風呂場などさりげなくモダンな造りが印象的で、とても居心地のいいお宅でした。大きな窓のある2階の書斎も当時の面影のままで、山川がここで広々とした海を見ながら執筆活動をしていた様子が見みじみと偲ばれました。

現在図書館2階の展示ケースでは「山川方夫 生誕80年」の展示を行なっています。山川方夫関連資料のほか、今回撮影させていただいた旧山川邸の写真や、吉田五十八設計図面(東京芸術大学芸術資料館所蔵の複写)も公開中です(6月末まで)。ご来館の際は是非ご覧ください。

2月～4月の新着本&DVD

2010年2月～4月新着分より
(著編者 / 出版社 / 出版年月 / 請求記号)



本

画像
なし

『日本史有名人の臨終図鑑』
(篠田達明/新人物往来社/'09.12 / 281.0 ヶ)
雑誌「歴史読本」の「日本史有名人の健康診断」と題して15年近く連載してきたカルテをまとめたもの。臨終時の年齢順に取り上げ、医師の鋭い視点で、病歴と死因を診断。死に至る謎も持病も明らかに。

画像
なし

『働く女(ひと)のお悩み相談100
- あなたのピンチを救う! -』
(有川真由美/広済堂あかつき/'10.1/159.4 7)
仕事や恋愛、人間関係に悩み疲れた時、この本を読むとスカッとします。一生懸命に働く女たちがしなやかに幸せに生きるヒントになればという著者。モヤモヤとした悩み解決の突破口に。

画像
なし

『薬食のすすめ
- 世界の台所にみる健康の知恵 -』
(三浦行義・大野尚子/'09.11 / 498.5 ミ)
体によいからこそ、昔から受け継がれてきた伝統食。男性長寿日本一の長野のニラせんべい、薬食の原点といわれる韓国の宮廷料理など、世界各地の伝統食を紹介。

画像
なし

『経済のことよくわからないまま
社会人になってしまった人へ』
(池上彰/海竜社/'09.12 / 330 1)
テレビでおなじみの池上彰氏がお金と賢く付き合うために、知っておくべき経済の基礎知識を簡単に解説。お金の流れや世の中のしくみがよく分かります。'04発行の増補改訂版。

画像
なし

『カメが好き!』
(みのじ/ブルース・インターアクションズ/
'09.10 / 666.7 ミ)
登場するカメは100種類。その他にカメなおやつ、カメてぬぐい.....いろんなカメに出会えます。なかでもカメガエルの姿にはびっくり!! とにかく妙に可愛いカメたちに癒されます。

画像
なし

『ぜんぜんたいへんじゃないです。』
(朝倉かすみ/朝日新聞出版 / '10.3 / 914 7 冊)
作家としては、若手でも今年50代になる著者の人生前向きエッセイ。小説を書き始めたきっかけが面白い。「ぜんぜんたいへんじゃないです」と思いながら日々生活できれば、人生楽しいかも.....。

映像 DVD (出演者 / 収録時間 / 請求記号)

画像
なし

『アース』
(アラスデア・フォザーギル監督(ほか) /
98分 / 450 7)
この地球上にある壮大な自然、そこに暮らす多くの生物たちを圧倒的な臨場感で追った究極のノンフィクション映像作品。北極から南極へ、地球を縦断する98分間の旅へ。

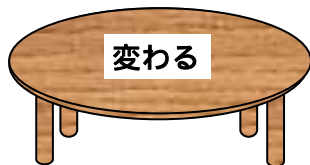
児童書

画像
なし

『しごとば 続』
(鈴木のりたけ/プロズ新社/'10.1/366 1 2)
昨年3月に刊行された『しごとば』の第2弾。専門職の人の仕事を覗いて、細かに描かれた物の名前もわかる楽しい本。登場人物の繋がりやパロディ要素を見つけると楽しさ倍増!

展示テーブルから

5月の展示テーマ



画像
なし

紹介本
『変わる世界、
立ち遅れる日本』
(ビル・エモット/
PHP研究所/
'10.3/304 1)

新年度が始まり、自分を取り巻く環境が一変された方も多いのではないのでしょうか。

今月の展示テーブルは「変わる」をテーマに展示しています。その中から「変わる世界、立ち遅れる日本」をご紹介します。著者のビル・エモット氏は、英雑誌「エコノミスト」元編集長で、金融危機後の世界を幅広い視野で考察し、最近では鳩山首相と日本経済の現状や将来について面談しています。明治以来、海外の長所に学び成長につなげてきた日本。平成も20年余を過ぎ、新しく「変わる」時代が来たと日々の報道などでも論じられています。それには、まずは個々から「変わる」意識を持つ必要があるのかもしれない。

こどものほんコーナーから

おすすめの1冊



画像
なし

『モグとうさポン』

ジュディス・カー
あすなる書房
'08.3
E 11

子供の頃、大好きなものはいつでもどこでも持ち歩き、たいていボロボロで汚かった。でもすごく大切にしていることを大人にわかってもらうのは難しい。ねこのモグを見て「あ、こんなだったな私」と懐かしむ人も多いのでは。

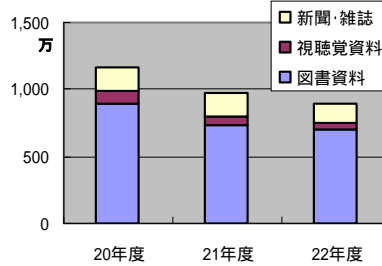
平成22年度 主な図書館事業

平成22年度の図書館の主な事業は以下のとおりです。今年度も町の情報・文化の発信地として、町民の皆様のお役に立てる図書館運営を目指します。

平成22年度資料購入費

図書(年鑑・白書等を含む) ……約700万円
 視聴覚資料(CD・DVDなど) ……約50万円
 新聞・雑誌 ……約137万円

<資料購入費推移>



県内図書館との連携

県内ネットワークシステム(相互貸借)によりリクエスト資料を借りて提供
 東海大学附属図書館との相互利用

学校との連携

団体貸出、総合学習支援(随時)
 学校図書館連絡会議(年2回)

利用促進・広報事業(情報発信)

図書館だより発行(年4回)
 図書館ホームページの充実

地域資料の充実

二宮ゆかりの人物調査
 『二宮ゆかりの人物ガイドブック』発行
 地域資料展示(2階地域資料コーナー)

視覚障害者へのサービス

図書館だよりテープ版の無料送付

子ども読書推進事業

小中学生にすすめたい本展示・リスト配布
 各対象向けおはなし会(毎月開催)
 わらべうたであそぼう!(毎月開催)
 「あかちゃんがはじめてであう絵本」冊子配布(随時)
 ブックスタート事業(保険予防課との共催)
 子育て支援コーナーの設置

イベント

図書館講座(11月・12月予定)
 図書館リサイクル市
 (5月22、23日開催)
 にんぎょうげき大会(年1回)

その他

団体巡回貸出サービス(年4回・4ヶ所)
 町内団体貸出(随時)
 図書館協議会(年2回)
 修理ボランティアの受入・育成

ベストオーダー 2010年 2月~4月

この期間に予約が多かった本です

【一般書 ベスト10】

- 1 Q 8 4 3 / 村上春樹
- 2 カッコウの卵は誰のもの / 東野圭吾
- 3 Nのために / 湊かなえ
- 4 食堂かたつむり / 小川糸
- 5 1 Q 8 4 1・2 / 村上春樹
- 6 天地明察 / 沖方丁
- 7 教室の亡霊 / 内田康夫
- 8 新参者 / 東野圭吾
- 9 ロスト・シンボル上・下 / ダン・ブラウン
- 10 キケン / 有川浩

ペンネームの由来

【地名編】

大佛次郎

鎌倉の大仏裏に住んでいたことから。

小松左京

学生時代に京都左京区に住んだため。

城山三郎

結婚後に住んだ家が名古屋の城山で、転居の3月にちなんで。

ふう〜ん



二宮ゆかりの人物

二見 庄兵衛 (実業家・篤農家)

二宮の名産品である落花生は味の良さで全国に知られており、北村薫の小説などにも登場します。落花生を二宮で最初に栽培したのが二見庄兵衛です。

二見庄兵衛(1832~1890)は天保3年平塚市で生まれ、幼少の頃山西(現釜野)の二見家の長男として養子になりました。進取に富んだ気性であり、33歳頃からは製油業などを営み、その他の新事業にも積極的に取り組みました。日本が大きく変転していく幕末から明治維新にかけての時代、青年時代の庄兵衛は明治の新風を誰よりも早く身に着けたと思われまふ。『二宮町近代史話』によると「東京や横浜に出かけ、2,3年家を空けたことがあり、福沢諭吉の三田の塾に入門し、諭吉から直接学んだこともあった」そうです。

庄兵衛と落花生との出会いは横浜でした。明治5年、横浜に出向いた際、南京町で落花生を食べたところ非常に美味なので横浜商館の外国人から数粒分けてもらい、自分の畑に蒔きました。しかし茎は育ってもいつまでたっても地上に実がならず、失敗したと諦めて掘り返したところ、土の中にたくさんの莢がっていました。そこで初めて落花生は根に実がなることを知り、近所に普及させました。初めは地面を這うように蔓が延びる這落花生でしたが、明治13年にその中から一株、茎の立ったものを発見しました。莢も多く粒も大きく、這落花生に比べ収穫時の労力が少ないことから、庄兵衛はその品種を普及させるべく改良にもつとめました。これが現在の落花生(立ち落花生)です。庄兵衛の研究は落花生の

みならず、小麦や大豆の栽培法など多くの作物にわたっています。明治23年、庄兵衛は59歳で亡くなりましたがその努力は高く評価され、死後、農商務大臣から銀杯を受けています。

二宮など中郡で落花生の栽培が盛んになったのは、土質が栽培に適していたことや温暖な気候に加え、タバコ耕作の裏作として手間がかからず土壌を豊かにする点があげられます。さらに軽便鉄道という輸送手段があったこと、アメリカへの輸出のための品質管理・技術指導を行なう落花生検査所が二宮にあったことも大きな要因でしょう。産業の少なかった当時の二宮の人々にとって、莢から実を取り出したり、大きさにより分別するなどの作業は現金収入として魅力的でした。昭和12年の日中戦争を境に、それまで主だったアメリカへの輸出は減り、戦中戦後の食糧難には主食切り替えのため落花生も生産中止となりました。戦後も生産量は減りましたが、長年培われた加工技術を持つ落花生専門店は今も健在で、相州落花生として神奈川県の名産百選にも指定されています。

日本初の落花生栽培は明治4年大磯の渡辺慶次郎とされています

このコーナーでは、二宮にゆかりのある人物や文学作品等をご紹介します。ここで紹介された人物や作品関連の情報がありましたら、図書館までお寄せください。

画像なし

お知らせ・お願い

新聞・雑誌の受入中止のお知らせ

平成22年4月より日刊スポーツ1紙と雑誌21誌の受入を中止しました。詳細は二宮町図書館ホームページ及び館内掲示をご覧ください。

新しい雑誌が入りました・・・「NHKすてきにハンドメイド」

放送終了の「NHKおしゃれ工房」に代わり、2010年4月号から受入開始。貸出は、テレビ番組「すてきにハンドメイド」の放送期間終了日+3開館日の翌日から開始します(予約者優先)。

図書館内のコピー機は2階のみの設置となりました

図書館資料のコピーをご希望の方は、2階カウンターでお申し込みください。

4月よりAV資料の所蔵リストが更新されました

開館当初から2010年3月31日までに受入をした資料のリストです。形態別、ジャンル別に載っています。新着リストとあわせてご利用ください。

利用者の声 Q&A

Q: 2階でも予約の受付をしていますか?

A: 予約・リクエストの申し込みは2階でも受け付けています。その他に書庫資料の申し込みや本に関するご相談など、お気軽におたずねください。

行事

くわしくはお問い合わせください。

5月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

7月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

6月

休館日

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30			



図書館リサイクル市
5月22日(土)・23日(日)



ちいちゃいおはなし会
第2水曜日(5月は第3水曜日)



おおきいおはなし会 小学生からおはなし会とおりがみあそび
第3土曜日



わらべうたであそぼう!
第3金曜日



第6回 図書館リサイクル市 開催のお知らせ

日時 5月22日(土)・23日(日)
10時~16時(なくなり次第終了)
場所 ラディアン展示ギャラリー
内容 本(単行本・文庫・雑誌・児童書等)

1人10冊までお持ち帰りできます。
5月22日は混雑が予想されるため、9時30分から会場(展示ギャラリー)前で整理券を配布します。1人1枚です。
持ち帰り用の袋などは、各自ご持参ください。
どなたでもご入場できます。お気軽にお越しください。

会場内に二宮町図書館基金のための募金箱を設置します。皆様のご協力をお願いします。

ご協力ありがとうございます

図書館基金

4月末までの累計
3,150,985円

《月別合計》

2月の金額 3,090円
3月の金額 3,669円
4月の金額 3,080円

展示テーマ

- 3月 | 一般 / 『達人・匠の仕事』
| 児童 / 『春』
| AV / 『黒澤明 生誕100周年』
- 4月 | 一般 / 『読書で世界を広げよう!』
| 児童 / 『春』
| 『ぼうけん』(ミニ展示)
- 5月 | 一般 / 『変わる』
| 児童 / 『初夏』
| AV / 『花の名前に誘われて』

特設展示

3月・・・『黒澤明 生誕100年』

2月・・・『瀬川康男』(児童特設)

『J・D・サリンジャー』

『柴野拓美』

『ディック・フランシス』

『立松和平』

4月・・・『井上ひさし』

追悼展示

地域資料展示ケース【二宮ゆかりの人物】

4~6月・・・『山川方夫生誕80年』

7~9月・・・『柴野拓美』

書庫の本紹介コーナー

4~6月・・・『男性作家』

~大佛次郎・井上靖・新田次郎~

ひとつだけ ~編集後記にかえて

先日久しぶりに大きな虹を見た。ちょうど枝垂桜が満開の頃、桜の向こうに見えたのでとても幻想的な景色だった。ラッキーが重なったようでうれしくなった。こういう小さな感動を日々積み重ねて、健やかな心の糧にしたい。

編集・発行 二宮町図書館

住所 二宮町二宮1240-10

☎ 0463-72-6913

ホームページ <http://www.ninomiya-public-library.jp/>

図書館だよりテープ版もあります! お問い合わせください。

次号の発行は
8月15日。ホ~!

